

(西暦) 2025 年 8 月 26 日

びまん性メサンギウム増殖を呈する小児期発症ネフローゼ症候群の診断、治療のため当院に入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた臨床研究に対するご協力をお願い

研究責任者 所属 腎臓内科
職名 科長
氏名 貝藤 裕史

実務責任者 所属 腎臓内科
職名 医長
氏名 田中 悠
連絡先電話番号 087-945-7300

このたび当院では、上記のご病気で入院・通院されていた患者さんの診療情報を用いた下記の研究を実施いたしますので、ご協力をお願いいたします。この研究を実施することによる患者さんへの新たな負担は一切ありません。また患者さんのプライバシー保護については最善を尽くします。本研究への協力を望まれない患者さんは、その旨、腎臓内科 田中悠までご連絡をお願いします。

1 対象となる方

西暦 1990 年 1 月 1 日より 2024 年 12 月 31 日までの間にネフローゼ症候群と診断された 18 歳未満の患者様のうち、兵庫県立こども病院腎臓内科にて腎生検を行い、「びまん性メサンギウム増殖」の組織型と診断された患者様となります。

2 研究課題名

びまん性メサンギウム増殖を呈する小児期発症ネフローゼ症候群の臨床経過および長期予後に関する検討

3 研究実施機関

兵庫県立こども病院 腎臓内科
神戸大学医学部附属病院 小児科
和歌山県立医科大学 小児科
姫路赤十字病院 小児科

4 本研究の意義、目的、方法

小児ネフローゼ症候群は稀な疾患であり、1年間に小児10万人に2-5人が発症します。小児ネフローゼ症候群の腎組織像（腎生検により採取した組織を顕微鏡で評価した際の所見）は90%程度が微小変化型とされますが、3-5%がびまん性メサンギウム増殖という比較的稀な組織型と診断されます。本研究は、びまん性メサンギウム増殖を呈する小児ネフローゼ症候群の臨床経過および長期予後を明らかにすることを目的としています。これにより、診断時点から本疾患の予測される臨床経過をより正確に提示でき、個々の患者に応じた治療方針の最適化につながることが期待されます。研究方法は、既に作成されている診療録を用いて腎機能の推移、寛解（蛋白尿の消失）の有無、治療期間、再発回数などの情報を収集し、解析や評価を行います。主たる研究機関は神戸大学医学部附属病院小児科（研究責任者：山村智彦）とし、当院は既存情報の提供のみを行います。

5 協力をお願いする内容

既に作成されている診療録や画像データの閲覧に関して御協力を頂きます。

6 本研究の実施期間

西暦 倫理委員会承認後～ 2027年3月31日（予定）

7 プライバシーの保護について

- 1) 本研究で取り扱う患者さんの個人情報、氏名と患者番号のみです。その他の個人情報（住所、電話番号など）は一切取り扱いません。
- 2) 本研究で取り扱う患者さんの診療情報は、個人情報をすべて削除し、第三者にはどなたのものかわからないデータ（匿名化データ）として使用します。
- 3) 患者さんの個人情報と匿名化データを結びつける情報（連結情報）は、本研究の個人情報管理者が研究終了まで厳重に管理し、研究の実施に必要な場合のみに参照します。また、研究終了時に完全に抹消します。
- 4) なお連結情報は当院内のみで管理し、他の共同研究機関等には一切開示いたしません。

8 お問い合わせ

本研究に関する質問や確認のご依頼は、下記へご連絡下さい。

兵庫県立こども病院 腎臓内科 担当者：田中 悠

〒650-0047 神戸市中央区港島南町1丁目6-7

TEL：087-945-7300

受付時間：9：00 - 17：00（土日祝日はのぞく）

以上